

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	幼児と人間関係		
担当者(Instructors)	渡邊 明宏	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

幼児教育・保育の基盤は「人と人との関わり」であり、保育者には子どもの育ちの姿や状況、また現代社会に即応した対応が求められる。この授業では、ガイドラインである幼稚園教育要領や保育所保育指針に示される人間関係に関連する事項について、ならびに保育者に求められる乳幼児期の心理・社会的な育ちにまつわる基礎的理論について修得することを目的とする。また、修得した知識を活かして事例などを検討・考察し、人間関係に関わる保育者としての専門性を高めることを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	テキストを用いて、子どもの人間関係の育ちに関する基礎的な理論を修得する。そして、修得した知識を活かして事例などを検討・考察する際には、ディスカッションやグループワークを実施する。ディスカッションやグループワークの事後には振り返りを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション、子どもをとりまく現代的課題	子どもの人間関係にまつわる現状や現代的課題について理解する。	<input type="checkbox"/>
第2回	領域「人間関係」のねらいと内容及び配慮事項	要領・指針に示される内容や、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について理解する。	<input type="checkbox"/>
第3回	子育て家庭・子育て支援	家族の形態や少子高齢化、地域社会の現状をふまえ、子育て家庭や地域子育て支援について理解する。	<input type="checkbox"/>
第4回	3歳未満児の人間関係①：初めての他者	愛着（アタッチメント）や基本的信頼感と、その重要性について理解する。	<input type="checkbox"/>
第5回	3歳未満児の人間関係②：自分への気づき	自我の発達、自己主張と自己抑制の育ちについて理解する。	<input type="checkbox"/>
第6回	3歳以上児の人間関係①：仲間への気づき	他者・仲間への意識と協同性の育ちについて理解する。	<input type="checkbox"/>
第7回	3歳以上児の人間関係②：ヨコの関係における育ち	園生活における仲間とのトラブルと、自律性の育ちについて理解する。	<input type="checkbox"/>
第8回	3歳以上児の人間関係③：思いやり・良心	幼児期以降の道徳性・規範意識の育ちについて理解する。	<input type="checkbox"/>
第9回	遊びにおける人間関係の育ち①：子どもの遊びへの理解	保育者としての子どもの遊びへの視点や、遊びの概念について理解する。	<input type="checkbox"/>
第10回	遊びにおける人間関係の育ち②：保育における遊びの展開	集団的な遊びの展開における子どもの人間関係の育ちについて理解する。	<input type="checkbox"/>
第11回	遊びにおける人間関係の育ち③：集団遊び・ルール遊びの展開	保育者としての集団的な遊びの具体的な展開方法について考える。	<input type="checkbox"/>
第12回	保育者に求められる援助の視点	自立や協同に向けての具体的な保育者の援助の視点を理解する。	<input type="checkbox"/>
第13回	保育者にとって「気になる子ども」	いわゆる「気になる子ども」や問題とみなされる行動を理解し、対応を考える。	<input type="checkbox"/>
第14回	地域子育て支援と人間関係	保護者や地域のニーズや、保育施設における取り組みを理解する。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめと振り返り	子どもの人間関係の育ちを支えるための保育者としての役割を確認する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

--

授業前にテキストの予習（2時間）をする。授業後は学修内容や配布資料に基づいてまとめを作成（2時間）する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出物に対しては次回以降にまとめてフィードバックし、全体で共有する機会を設ける。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	要領・指針に示される人間関係に関連する事項や、乳幼児期の心理・社会的な発達にまつわる基礎的理論について説明できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	根拠や理論に基づいて事例などを検討・考察し、保育者として人間関係を育むための役割を具体的に考えて説明できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

テーマのまとめり毎に提出物を課す。また、ディスカッションやグループワークにおいては積極性や事後の振り返りを評価する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	濱名浩 編 (2018) 新時代の保育双書 保育内容 人間関係 第2版 (みらい)	978-4-86015-445-5
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	保育所保育指針解説」(平成30年2月, 厚生労働省)	
2	「幼稚園教育要領解説」(平成30年2月, 文部科学省)	
3	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(平成30年2月, 内閣府・文部科学省・厚生労働省)	
4	「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示, 文部科学省)	
5	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示, 内閣府・文部科学省・厚生労働省)	